

# プラチナ展望

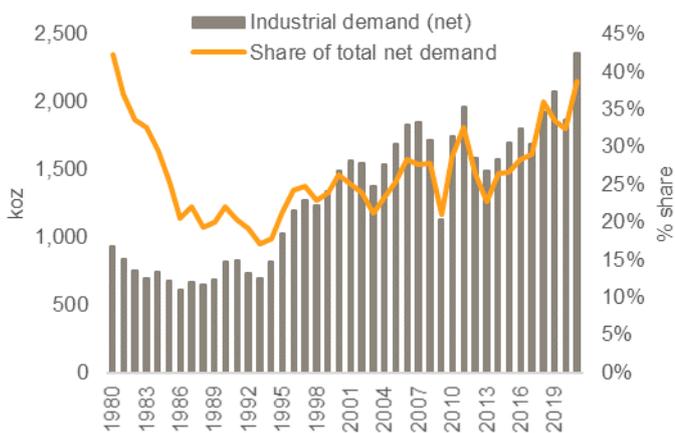
## 工業需要は最大のプラチナ需要分野、 プラチナ需要牽引も注目されず

プラチナの需要分析は自動車と宝飾品に焦点が当てられ、工業分野は往々にして軽視されがちだ。しかし、2021年の工業分野のプラチナ需要は、リサイクル供給を除いたプラチナ需要全体の約40%になると予測されている。近年の工業分野のプラチナ需要の成長は目を見張るものがあり、年平均成長率は2013年からコロナ禍以前の2019年までは6%。これは世界のGDPの2倍以上、経済協力開発機構による工業生産成長率の3倍の成長率である。

プラチナの工業用途は多岐に渡るため、コロナ禍からの経済回復、そして技術革新による継続的な成長の恩恵を受けている。またプラチナ価格そのものは製造コスト全体の一部に過ぎないため、工業のプラチナ需要はプラチナ価格に左右されにくい。このような工業セクターのプラチナ需要は主に3つに分類される。一つはプラチナそのものを加工して作る熱電対やステント、次に大きな量ではないが産業用プラチナ触媒やプラチナ製の加工機器の摩擦で減少するプラチナを補足する需要、そして最後に新たな加工ラインを建設する際に必要となる大きな需要量である。

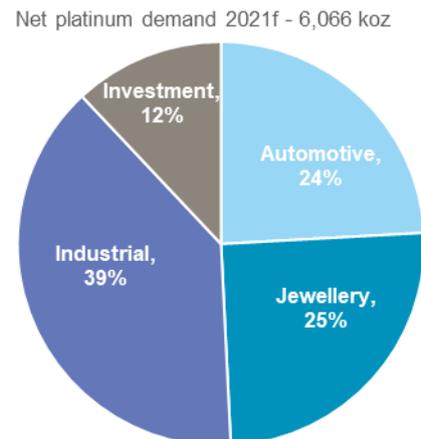
2021年の工業分野のプラチナ需要は昨年より25%増加し74.6トンとなる予測で、コロナ禍前より13%多く、この背景には石油精製、化学、そしてガラスセクターの成長がある。建設セクターのグラスファイバー断熱材、自動車需要、再生可能エネルギー複合材料、携帯電話、テレビやパソコンの液晶パネルの需要の急増で、世界のガラス需要を満たすためにはガラス製造能力の拡大が必須となっている。

### プラチナの工業需要は1990年代初めより堅調な伸び



資料: JM (1980年から2012年), SFA オックスフォード (2013年から2018年), メタルズフォーカス (2019年以降), WPIC リサーチ

### 2021年はガラスと石油産業の成長で、工業需要予測は最大のプラチナ需要分野に



資料: メタルズフォーカス, WPIC リサーチ

特に中国における化学、ガラス、石油生産能力の増強は過去にもプラチナの工業需要を押し上げた経緯がある。中国の石油精製能力は国内のエネルギー需要に応えるため過去20年間でほぼ3倍となり、この三つの分野は今後も大きく成長することは間違いないだろう。

これらの生産能力増強に伴うプラチナの工業需要の増加は、さらに多種多様なプラチナ需要を呼び起こす力となり、多くの投資家が注目するところだ。自動車、投資需要に加えて工業のプラチナ需要の成長が2021年とそれ以降もプラチナの供給不足の背景となっている。

今年と来年にかけ、中国は約1500万トンのパラキシレン製造能力を、アフリカとアジアでは1日約490万バレルの石油精製能力をそれぞれ増強予定で、さらなる化学、石油セクターのプラチナ需要が見込まれる

Trevor Raymond  
Director of Research  
+44 203 696 8772  
[traymond@platinuminvestment.com](mailto:traymond@platinuminvestment.com)

David Wilson  
Manager, Investment Research  
+44 203 696 8786  
[dwilson@platinuminvestment.com](mailto:dwilson@platinuminvestment.com)

Brendan Clifford  
Head of Institutional Distribution  
+44 203 696 8778  
[bclifford@platinuminvestment.com](mailto:bclifford@platinuminvestment.com)

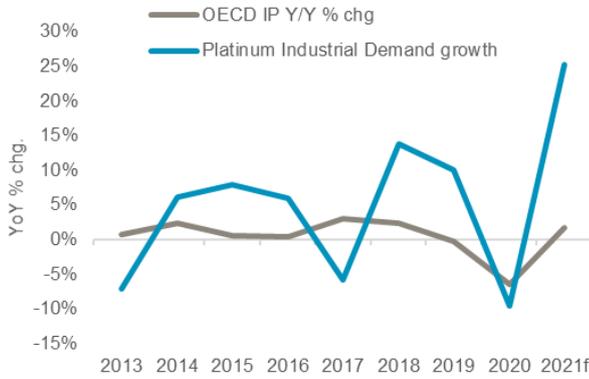
World Platinum Investment Council  
[www.platinuminvestment.com](http://www.platinuminvestment.com)  
Foxglove House, 166 Piccadilly  
London W1J 9EF

2021年5月

**投資資産としてのプラチナの魅力:**

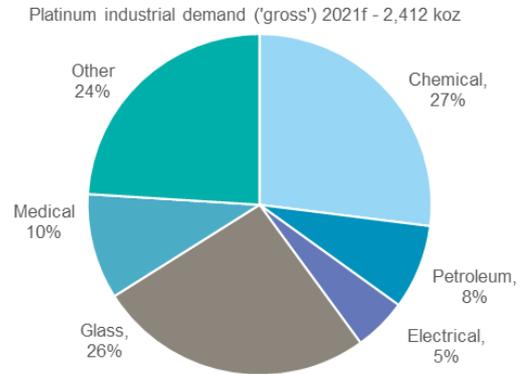
- 新たな金属鉱山への投資は限定的で、供給は比較的制限されている。
- プラチナ価格は金との比較では過去最低価格に近い。パラジウムとの比較では史上最低レベルにある。
- PGM 全体の需要は排ガス規制の厳格化により今後も成長
- プラチナとパラジウム市場の需給バランスと価格のミスマッチはプラチナへの代替を加速
- プラチナの低価格と良好なファンダメンタルズへの展望で機関投資家需要は急増

**図 1: プラチナの工業需要は 2013 年以來、年平均成長率 6%、OECD 工業生産成長率の 3 倍以上**



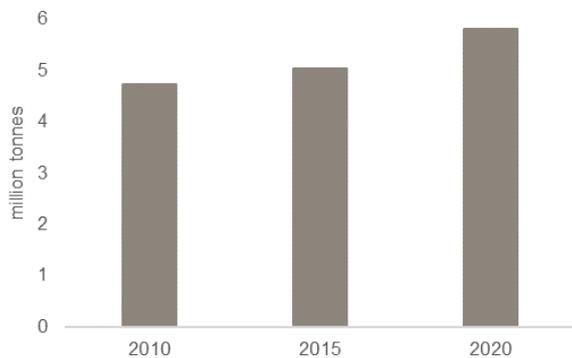
資料: 経済協力開発機構, WPIC リサーチ

**図 2: プラチナの工業需要は多岐にわたり、経済回復と技術革新の恩恵を受けている**



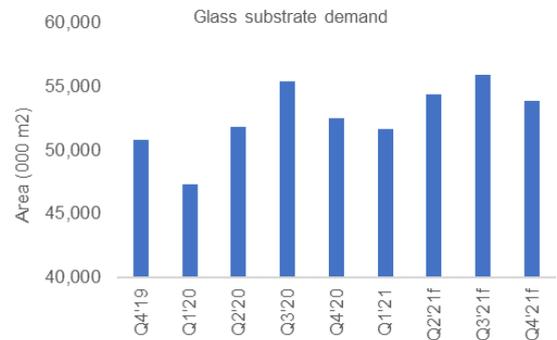
資料: メタルズフォーカス, WPIC リサーチ 注: 2021 年は工業素材のオープンループリサイクルから 1.8 トンのリサイクル供給が予測されており、公表されている総需要はクローズループリサイクル

**図 3: 中国の生産能力増強を背景にグラスファイバー製造は 2010 年からほぼ 25%増加**



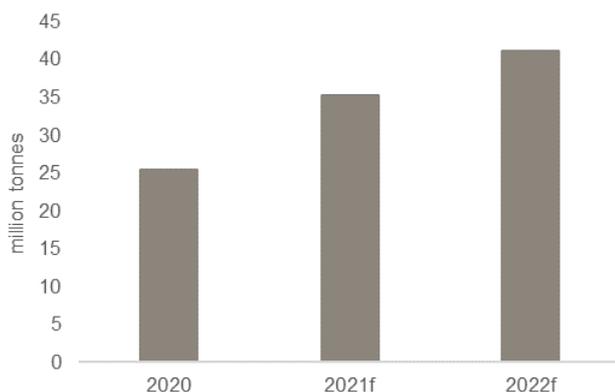
資料: Statista.com, WPIC リサーチ

**図 4: テレビやパソコンの画面に使われるガラス基板の需要は低迷した 2020 年第 1 四半期から急増、2021 年以降も大きな成長予測**



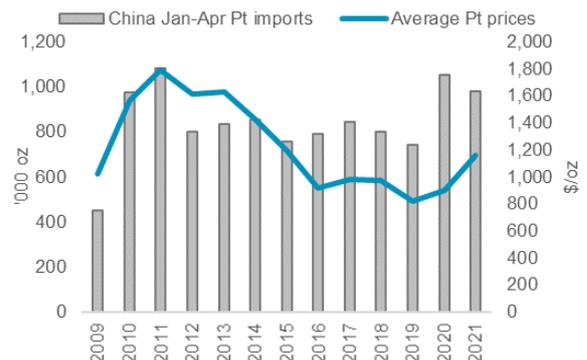
資料: 英 Omdia, WPIC リサーチ

**図 5: 2021 年、2022 年に中国は約 1500 万トンのパラキシレン製造能力を増強予定、化学セクターのプラチナ需要増大に期待**



資料: 英 Drewry Shipping Consultants, WPIC リサーチ

**図 6: プラチナ価格上昇でも中国の工業と自動車のプラチナ需要増がプラチナ輸入を押し上げ**



資料: 中国税関総省, ブルームバーグ, WPIC リサーチ

## 免責条項:

当出版物は一般的なもので、唯一の目的は知識を提供することである。当出版物の発行者、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルは、世界の主要なプラチナ生産会社によってプラチナ投資需要発展のために設立されたものである。その使命は、それによって行動を起こすことができるような見識と投資家向けの商品開発を通じて現物プラチナに対する投資需要を喚起すること、プラチナ投資家の判断材料となりうる信頼性の高い情報を提供すること、そして金融機関と市場参加者らと協力して投資家が必要とする商品や情報ルートを提供することである。

当出版物は有価証券の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきものでもない。当出版物によって、出版者はそれが明示されているか示唆されているかにかかわらず、有価証券あるいは商品取引の注文を発注、手配、助言、仲介、奨励する意図はない。当出版物は税務、法務、投資に関する助言を提案する意図はなく、当出版物のいかなる部分も投資商品及び有価証券の購入及び売却、投資戦略あるいは取引を推薦するものとみなされるべきでない。発行者はブローカー・ディーラーでも、また2000年金融サービス市場法、Senior Managers and Certifications Regime 及び金融行動監視機構を含むアメリカ合衆国及びイギリス連邦の法律に登録された投資アドバイザーでもなく、及びそのようなものと称していることもない。

当出版物は特定の投資家を対象とした、あるいは特定の投資家のための専有的な投資アドバイスではなく、またそのようなものとみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。いかなる投資、投資戦略、あるいは関連した取引もそれが適切であるかどうかの判断は個人の投資目的、経済的環境、及びリスク許容度に基づいて個々人の責任でなされるべきである。具体的なビジネス、法務、税務上の状況に関してはビジネス、法務、税務及び会計アドバイザーに助言を求めるべきである。

当出版物は信頼できる情報に基づいているが、出版者が情報の正確性及び完全性を保証するものではない。当出版物は業界の継続的な成長予測に関する供述を含む、将来の予測に言及している。出版者は当出版物に含まれる、過去の情報以外の全ての予測は、実際の結果に影響を与えるリスクと不確定要素を伴うことを認識しているが、出版者は、当出版物の情報に起因して生じるいかなる損失あるいは損害に関して、一切の責任を負わないものとする。ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルのロゴ、商標、及びトレードマークは全てワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルに帰属する。当出版物に掲載されているその他の商標はそれぞれの商標登録者に帰属する。発行者は明記されていない限り商標登録者とは一切提携、連結、関連しておらず、また明記されていない限り商標登録者から支援や承認を受けていることはなく、また商標登録者によって設立されたものではない発行者によって非当事者商標に対するいかなる権利の請求も行われぬ。

## WPIC のリサーチと第2次金融商品市場指令 (MiFID II)

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル(以下 WPIC) は第2次金融商品市場指令に対応するために出版物と提供するサービスに関して内部及び外部による再調査を行った。その結果として、我々のリサーチサービスの利用者とそのコンプライアンス部及び法務部に対して以下の報告を行う

WPIC のリサーチは明確に Minor Non-Monetary Benefit Category に分類され、全ての資産運用マネジャーに、引き続き無料で提供することができる。また WPIC リサーチは全ての投資組織で共有することができる。

1. WPIC はいかなる金融商品取引も行わない。WPIC はマーケットメイク取引、セールストレード、トレーディング、有価証券に関わるディーリングを一切行わない。(勧誘することもない。)
2. WPIC 出版物の内容は様々な手段を通じてあらゆる個人・団体に広く配布される。したがって第2次金融商品市場指令(欧州証券市場監督機構・金融行動監視機構・金融市場庁)において、Minor Non-Monetary Benefit Category に分類される。WPIC のリサーチは WPIC のウェブサイトより無料で取得することができる。WPIC のリサーチを掲載する環境へのアクセスにはいかなる承認取得も必要ない。
3. WPIC は、我々のリサーチサービスの利用者からいかなる金銭的報酬も受けることはなく、要求することもない。WPIC は機関投資家に対して、我々の無償のコンテンツを使うことに対していかなる金銭的報酬をも要求しないことを明確にしている。

さらに詳細な情報は WPIC のウェブサイトを参照。

website: <http://www.platinuminvestment.com/investment-research/mifid-ii>

当和訳は英語原文を翻訳したもので、和訳はあくまでも便宜的なものとして提供されている。英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。